

科目名	医療ソーシャルワーク					開講 キャンパス	神 埼
担当者	山 田 美 保						
開講年次	4	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	近年、疾病構造の変化や社会経済の悪化に伴い、傷病を原因として生じる生活課題は複雑かつ多様化する中、医療ソーシャルワーカーの重要性が高まっている。本授業では、医療機関におけるソーシャルワーク実践について概説する。また、演習やグループ活動を通して医療ソーシャルワークの実際について学習する機会を提供する。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 保健・医療提供システムと社会資源の関係について理解する。 2) 医療ソーシャルワークの視点（価値観）、援助過程を理解する。 3) 医療機関の機能ごとのソーシャルワーク実際を考察する。 4) 保健・医療領域での社会資源の活用について説明できる。 5) チーム医療における社会福祉士の役割を理解する。						
学習方法	講義、演習、DVD視聴など						
テキスト及び参考書等	テキストは指定しない。適宜資料を配布する。						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	◎	◎	○			60
授業態度		○	◎	○			20
受講者の発表	◎	○	◎	○			20
授業への参加度			○				
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	ソーシャルワーカーとして病院で働くということ（演習）						
第 3 週	医療ソーシャルワーカーに求められる知識 病院の機能（急性期～亜急性期・回復期～慢性期）						
第 4 週	医療ソーシャルワーカーとしての価値・倫理（演習）						
第 5 週	医療ソーシャルワークの展開 入院・外来での支援プロセス						
第 6 週	医療ソーシャルワークの展開 インテーク						
第 7 週	医療ソーシャルワーカーに求められる知識 経済保障に関する制度 1						
第 8 週	医療ソーシャルワークの展開 経済的支援（演習）						
第 9 週	医療ソーシャルワーカーに求められる知識 退院支援に関連する制度・サービス						
第 10 週	医療ソーシャルワークの展開 退院支援 1（演習）						
第 11 週	医療ソーシャルワークの展開 退院支援 2（演習）						
第 12 週	病院機能と医療ソーシャルワーク（グループ学習・調査計画）						
第 13 週	病院機能と医療ソーシャルワーク（グループ学習・調査の実施）						
第 14 週	病院機能と医療ソーシャルワーク（グループ学習・報告書作成）						
第 15 週	グループ発表						
第 16 週							
備 考	<履修上の注意> 本授業は、医療機関への就職を希望する学生への推奨科目です。授業内容をよく理解して履修してください。 <授業外学習> グループ学習および演習に必要な資料を事前に準備し、学習をしておくこと。						